

# The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



2019年8月7日【第1149回】



クラブ会長ターゲット  
「友情を育み、地域社会に貢献する」  
"Foster friendships,  
Contribute to the community."  
2019-2020年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ  
「ロータリーは世界をつなぐ」  
"ROTARY CONNECTS  
THE WORLD"  
2019-2020年度  
国際ロータリー会長  
マーク・ダニエル・マローニー

創立：1994年8月8日  
会長：佐藤正樹  
副会長：高橋映治  
幹事：杉浦孝浩  
会報委員長：勝間田健一

8月7日の卓話	7月31日の出席率	8月21日の卓話
東京臨海 RC 創立 26 周年記念例会 「東京臨海 RC 創立から 今までを振り返って」 1997-98 年度会長 須藤宗之助様 (臨海・臨海東・臨海西 RC 合同例会)	会員在籍者数 39 名 会員出席者数 28 名 会員欠席者数 11 名 本日の出席率 75.68% 前々回訂正出席率 71.05%	移動例会 「らいおんは一と子供食堂」

## 《東京臨海・東京臨海東・東京臨海西 3RC 合同例会》 新本博司ガバナー公式訪問 2019年7月31日(水)

東京臨海 RC 第 1148 回例会  
東京臨海東 RC 第 1075 回例会  
東京臨海西 RC 第 15 回例会



司会：東京臨海 RC 佐久間裕章 SAA 委員長

- 来賓紹介：東京臨海 RC 佐藤(正)会長  
国際ロータリー第 2580 地区ガバナー 新本博司様  
ガバナー補佐 田村純治様  
地区幹事 新垣淑典様  
地区副幹事 岡本隆一様
- ビジター紹介：東京臨海 RC 酒井教吉会員  
荒井知久様 (東京江戸川 RC)



### ■ ご挨拶

- ・ ガバナー 新本博司様  
私、所属は那覇 RC として、出身は石垣島でございます。そこで高校まで出まして、大学は東京へ出てまいりました。今年度のガバナーを拝命致しました以上、皆さんと共に手を取りあって楽しいロータリーライフを築いていければありがたいと思っております。3クラブ合同開催をしていただき感謝しております。本日は、卓話を宜しくお願い致します。
- ・ ガバナー補佐 田村純治様

すでに何回か訪問致しておりますが、今回は初めてのガバナー公式訪問ということで緊張しております。3クラブ合同ということもあり、地区幹事、地区副幹事も呼び致しまして、盛大に、そして順調にきております。3つのすばらしいクラブのご発言を伺ってたくさんの元気をいただきました。これからは3クラブがますます東分区、地区、RCのため



- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤(正)会長  
東京臨海東 RC 池田会長  
東京臨海西 RC 栗山会長



- ロータリーソング斉唱「手に手つないで」  
：ソングリーダー 東京臨海 RC 櫻田副委員長
- 「四つのテスト」斉唱(歌)
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC バージョン唱和：  
東京臨海 RC 高橋副会長

に発展していくことをお祈り致しております。本日はありがとうございます。



#### ■幹事報告：杉浦幹事

- ・次週 8 月 7 日は、当クラブ創立 26 周年記念例会の為 3RC 合同例会です。開始時間は 12:30 です。
- ・本日例会後、ガバナーを囲んで集合写真を撮りますので 3 階写真室へ移動してください。
- ・東京臨海西 RC 様より会員名簿を頂きましたので、メールボックスにお入れしました。

#### ■出席状況報告：立花委員

⇒詳細 1 頁バナー下に掲載。

#### ■ニコニコ BOX 報告：今井委員

(ご意向)本日、宜しくお願ひ致します。：荒井知久様 (東京江戸川 RC)

(ご意向)新本ガバナー、田村ガバナー補佐、新垣地区幹事、岡本地区副幹事、公式訪問宜しくお願ひします。：佐藤正樹会長、高橋副会長、杉浦幹事、齊藤会員、坂本康朋会員、入澤会員、笹本会員、酒井会員、大澤会員、勝間田会員、柴田会員、篠塚慎之介会員、山田会員、本多会員、佐久間裕章会員、櫻田会員、須藤会員、今井会員

(ご意向)昨日は大変お世話になりました。親睦委員長頑張ります。：井上会員

【20 件 52,000 円 今年度累計 334,000 円】



#### ■卓話

「ガバナー講評」

国際ロータリー第 2580 地区ガバナー 新本博司様  
奉仕の実践／平和で明るい未来

こちらの 3 クラブはそれぞれに個性がありますが、基本的には親睦を中心としてそして何か向上しようという思いは共通ではないかと思ひます。3 クラブの個性を出していただければ相乗効果が出てくるのではないかと思ひます。共通して言えるのは、一人一人が活動する熱意となるのは、みんなのためにやるんだとい

うところだと思ひます。ロータリークラブは、ポール・ハリスが百何十年も前に仲間がほしいということでシカゴで作られ、仲間と集まって親睦をはかろうということで過ごしていたと思ひますが、ロータリーというところは金儲けをするところだという風潮が流れたので、数年後に何か社会に良いことをしようということで、町に公衆トイレを作ったりしました。そうしていくうちにシカゴだけではなく、全米、全世界に広がるわけで、日本にも 15 年くらいして伝播してきたわけです。米山梅吉さんは、アメリカに財政経済視察団として訪れた際にロータリーというものが目について、日本もどうかしておれないということで、1920 年に日本にロータリーを作ることになるわけです。したがって、ロータリーは人々をいかに幸せにするかという考えが染み込んでいったのだと思ひます。ただ、先進国で満たされてきますと、多様性はどう応えていくかということが大切になってくるので、国際奉仕などが出てくるわけですが、自クラブではなくなぜ違うところに注力するのかという意見などもあり、会員減少が続いているのです。これをどう引き止めるか。どういう魅力を持つかということが、世界中でお互いに共有すべき課題だと思ひます。そういう中で、ジョン・ジャーム元 RI 会長はこういうことを言っています。「ロータリーは、広報や認知活動に努めることなく、地元や世界でどれだけ素晴らしい活動をしているかをもっと効果的かつ積極的にマーケティング活動をすることによってロータリーの公共イメージを高める必要がある」。私も同感であります。今年度、公共イメージ向上委員会というのを立ち上げました。やはりロータリーがどういうことをしたらいいのかを議論していく中で、クラブ単位の活性化に努めることが今のロータリーがやらなければならないことだと思ひました。それぞれの地域がより良い地域になるにはということを考えれば、自ずとロータリーが何をしたらよいか定義されてくると思ひます。これからは対外的な広報活動が必要になってくると考えており、ゆくゆくは会員増強につなげていくには、もっと我々のことを知ってもらふ必要があるのだと考えています。入りて学び入りて奉仕せよという言葉の通り、学ぶだけではなく、いかに奉仕活動をするかということだと思ひます。今年度の RI 会長の「ロータリーは世界をつなぐ」というのは、あらゆる人種が様々な要素が絡み合いながら共同体で住んでいる中で、手を取り合って生きていくという意味がすべて表されているわけであり、毎日色々なことがあるけれども、もっと相手のことを理解しようじゃないかということで、これを前提にクラブの活動方針を決めていけばやるべき方向性はほぼ決まっていると思ひます。マローニー会長は家庭や地域を大事にしなさいと言っている。家族がロータリーを理解しないようなことでは繋がりができないのではないかと言っている。そこで感動を共有していくことができれば争いも不要だし、国境も不要になるのではないかともし言っている。今や地球はインターネットの普及により狭くなっている、一つの共同体なわけです。

今までの共有方法では広がりが遅いので、インターネットを駆使して活動を広く伝えていくことが大事だと思いました。そういうことをしながらロータリーに家庭をも巻き込み、家庭単位でも奉仕活動をしていくことは素敵なことだと思います。社会奉仕活動もインターネットでも広げられると思う。広く呼びかけをしていけば面白くなるのではないかと思います。3クラブの方針として、地域にも貢献していきたいと掲げているので、方法を見つけて集中して行ってほしいと思います。今、沖縄は3人に1人が貧困なのですが、お金や物を与えるのではなく豊かになる方法、ノウハウを教えることが社会奉仕になるのだと思います。そうすれば、社会はロータリーにお願いすれば何とかしてくれると思ってくれると思います。地域が疲弊してくると自分たちの仕事も成り立たなくなるわけで、奉仕活動は自分たちのためにもなるのです。むしろこれからは奉仕をしないと自分たちも幸せにはなれないという時代になってきているということを感じてほしいです。最後になりますが、沖縄の地区大会に是非お越しいただきたいと思います。国際大会でもガバナーナイトを計画しておりますので、楽しんでいただきたいと思います。お互いにつながりながら、「ロータリーは世界をつなぐ」ということを実践できればと思います。本日はありがとうございます。

■点鐘：東京臨海西 RC 栗山会長  
東京臨海東 RC 池田会長  
東京臨海 RC 佐藤(正)会長

とやらせていただきたいと思います。具体的にどのように取り組んでいくのかということ、まずは例会の充実、出席率向上、そして会員増強を図っていきたくております。その一番の柱として、25年ぶりに刷新させていただき、委員会の刷新を致しております、それぞれの役割を今の時流に合った目的が明確なものにしております。皆さんがロータリーに対して今一度、目的を再認識していき、共に学び地域社会に貢献して参りたいと思います。新本ガバナーより、地域社会に対しての貢献方法について、様々なボランティア団体に卓話のお願いをしたり関わっていくことで今ある地域の課題を見いだせるという貴重なご意見もいただきました。



### ガバナー公式訪問お礼状

2019年7月31日

### 第2回 クラブ協議会

2019年7月31日(水)



■会長ご挨拶 佐藤正樹会長

「友情を育み、地域社会に貢献する」ということをターゲットにしております。大きく二つのことを達成したいと思ひ、このターゲットに決めさせていただきました。一つ目、クラブの活性化。すでに活性していることは重々理解はしておりますが、さらに真の仲間として友情を育んでいきたいということ、自クラブこそ原点というところを決めさせていただきました。二つ目と致しまして、職業奉仕、CSRということと、地域社会への貢献をしっかり

東京臨海ロータリークラブ御中  
東京臨海東ロータリークラブ御中  
東京臨海西ロータリークラブ御中

国際ロータリー第2580地区  
ガバナー 新本 博司  
地区幹事 新垣 淑典  
地区副幹事 岡本 隆一

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

貴クラブへの公式訪問に際しましては、会長・幹事をはじめ会員の皆様に歓迎いただきまして、誠にありがとうございました。

ご多忙の皆様にご貴重なお時間をいただき、貴クラブの活動状況をお聞きすることができました。心より感謝申し上げます。

RIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」をご理解いただき、会員の皆様が楽しくロータリー活動に励まれますことを願っております。

貴クラブのますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念して、お礼のご挨拶とさせていただきます。 謹白

## 2019-20 年度地区ターゲット

国際ロータリー第 2580 地区  
2019-20 ガバナー 新本博司

## 奉仕の実践／平和で明るい未来

## 一期一会の心で奉仕の実践を

私たちは、先輩や友人、知人に紹介され、勧誘の言葉に刺激を受け、加入の決意をし、ロータリークラブの会員になったと思います。

ロータリークラブが何をやる団体かを知らずに入った人も、社会に貢献する団体と認識し、選ばれたことに誇りをもって入会した人も、動機は様々ですが、「一期一会」の関係をもったことは事実で、「一つ一つの機会を大切に作る」縁で結ばれたと言うことでしょう。

価値観を分かち合える人を見つける為に創設されたロータリークラブが、長い年月の経った今日も変わらず輝きを増しています。それは誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を信じ、そして人生の最大の目的は人類のために奉仕することと信じている人々と行動を共にするからだだと思います。

親睦のために集まる会合は、日常どこにもあります。ロータリーは、型式や堅苦しさには囚われず、社会的な地位や身分とは無関係に、どの国の人とも対等な立場で会合を開いているので、お互いの友情が育まれるのです。この友情が続けば国家や宗教などの境界が消えることをロータリーが実証したのです。

ロータリーのロゴである歯車が停まることなく、地域や時を超えて世界平和に向けて回り続けるには、どうすればいいのでしょうか？

地域単位で構成されるクラブにとってロータリーの掲げる相互理解と国際親善の推進、即ち「奉仕の精神」を振興することこそ、活性化に不可欠です。

## 不易流行で明るい平和な未来を

ロータリーは世界の恒久的平和を推進することを強く求めて活動しています。ロータリーの理念をしっかりと踏まえた上で、時代の流れとともに私たちの背景が大きく変化している状況に対応し、入会してよかったと思えるクラブになることが大事だと考えます。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎とし奉仕の理念を推奨し、これを育むことにありと謳い、ロータリアン一人一人が個人として、事業及び社会生活において、日々奉仕の理念を実践することにあります。まさに今こそ原点に戻り、各クラブに於いて地域や社会のニーズを掘り起こし、2019-20 年度計画を立て、実践することです。即ち、実践なき奉仕は無きに等しいのです。

日本のロータリーが誕生して、2020 年に 100 周年を迎えます。これは、先輩ロータリアンがロータリーに魅力を感じ、次世代につないできた結果です。

これからも未来を築いていくには、ロータリアン、ロ

ータリークラブ、地区、RI が、私たちを取り巻く地域社会、国際社会、経済環境の変化、また人々の価値観の変化と向き合う必要があります。

様々な技術、情報があまりに速く世界を駆け巡る中、迅速な対応は容易ではありません。

私たちがロータリークラブに入会し、その組織基盤をベースにして活動するのは、自分たちの心の中に存在する社会を少しでも良くしていきたい、人の役に立ちたいという気持ちを実践する時に、より効果的に、より多くの成果を求め、自分たちの職業を生かした奉仕をしたいと考えるからです。よって奉仕活動の実践内容を、今の地域社会のニーズの変化に適応したものに変わっていく必要があります。

本年度は改めて、ロータリーの活動の価値を一人一人が見出し、自らが実践するロータリアンとして、昨日と違う自分を見つけ、継続して実行する人になる年にしましょう。

ロータリアン一人一人が誰からも尊敬と信頼される社会人として存在することが、会員増強に繋がり、牽いてはロータリー存続を保証することになります。

アーサー・F・シェルドン

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

「ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならない」

## 第 2580 地区方針

## 重点項目 1. 公共イメージと認知度の向上

ロータリーという名前を耳にしたことがあっても、どういう活動をしている団体なのか、理解しているか、の問いに世間(クラブ会員を含め)35%がよく知らない、というのが現実です。

「長年ロータリーは広報や認知活動に努めることなく、地元や世界でどれだけ素晴らしい活動をしているのかを、もっと効果的且つ積極的にマーケティング活動することによって、ロータリーの公共イメージを高める必要がある。」(ジョン・ジャーム元 RI 会長)

奉仕の実践を通し、クラブを活性化し、活動状況を、ソーシャルメディアを活用して、PR していきたいと考えます。

①その為に、地区公共イメージ向上委員会を立ち上げます。

奉仕を実践し、それをメディアを使って社会に知らせることを、目標とします。認知度の向上、会員の積極性向上、地元プロジェクトに対する協力と支援など、どの様な形が採れるかを、委員会で検討して貰います。そして、年間を通じて最もインパクトの高いクラブ・個人を審査し「よいことをした大賞」の授与も計画しています。

委員会やクラブには、ロータリーショーケースの利用を推進します。奉仕の実践を、タイムリーにロータリーショーケースに載せることは、情報の提供の第一歩と考えます。

ロータリーショーケースに載った奉仕活動を、積極的

にメディアに紹介していく方法も、採れば良いと思います。

②またロータリー活動を一般の方々に PR するイベントとして、地区・分区そしてクラブでロータリーデーを開催することを奨励します。

皆さんには、ソーシャルメディアへの記事掲載をして頂き、メディアにも記事を掲載して貰いたいと願っています。そして、クラブ規模のロータリーデー開催に繋がることを、期待します。

公共イメージ向上委員会は、1年間かけて、どうやって社会にロータリーの奉仕活動を認知して貰えるかを検討して頂きたい。クラブは、公共イメージ向上委員会と連携して、奉仕の実践を社会に発信して頂きたい。

## 重点項目 2. 奉仕の実践

我々は自己犠牲の上に奉仕活動をしているのでしょうか、決してそうではありません。少子高齢化社会は予想以上に、しかも急速に進んでいます。その結果、日本各地で限界集落が増えています。人口が減ることはあらゆる職業に影響を与えます。奉仕したくても時間が取れないということもあるでしょう。

しかし、現代は都会のみならず地方でも人々の付き合いは希薄化し、結果、子どもの貧困など住み難い社会になっているのはご承知の通りです。これらの諸問題は自らの職業、会社と無関係に存在しているのでしょうか、そうではありません。

自分が住んでいる地域社会の治安が悪く、老後を安心して暮らせないと思うと、その地域から離れていきます。結果、その地域は疲弊し、商売も成り立たなくなります。

要するに奉仕は自己を犠牲にして行うのではなく、奉仕することが自分の職業を存続させる道だと気付くことです。

奉仕をどの様にしていけば良いのか、迷うクラブもあると思います。

ロータリーの奉仕は、クラブ単位で行われます。社会奉仕委員会は、どの様な社会奉仕がロータリークラブに出来るのか、情報の発信場所となって、クラブを引っ張って頂きたい。

実践あってこそその公共イメージ向上です。

## 重点項目 3. 青少年奉仕活動の強化

マローニー会長は、青少年奉仕活動に大変な理解を示して居ます。ローターアクトを、国際協議会のオブザーバーでなく、ロータリアン同様の参加をさせたことから、明らかです。

ローターアクトの設立を、クラブにお願いします。設立して居ないクラブには、是非次年度に設立の検討をして頂きたい。

インターアクトクラブの設置や、青少年交換のホストファミリー問題の解決も、重要です。

青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、RYLA 委員会等と連携して、クラブが青少年奉仕活動を活発化する様、期待します。

青少年奉仕は、平和で明るい未来を作る為入力、不可欠な要素です。

## 継続項目：

地区の方針は、今年の重点項目だけではありません。継続して実践することは、重要です。

### ①研修と実践

3か年の研修計画は松坂ガバナー年度で終わりますが、研修を実践の為のエンジンと考え、継続します。

### ②会員増強

会員増強は、奉仕の実践の為に必要不可欠な要素です。

### ③ガバナー補佐 13 人体制

松坂ガバナー年度に始まったガバナー補佐 13 人体制は、より充実した地区とクラブの架け橋となる様に継続します。

### ④オンツーホノルル

### ⑤日台・日韓親善

平和で明るい未来を作る為には、紛争が無い社会にしなければなりません。近隣諸国と民間レベルで親善を行うことは、大変重要だと考えます。

マーク・ダニエル・マローニーのビジョンと目標の声明を紹介します。

## ビジョンと目標の声明

幸運にも会長に選ばれば、私はロータリーをより良いものにするためにほかのリーダーと精力的に協力します。

私が主に重点を置くのは、ロータリーの心臓部であるクラブのサポートと強化です。ロータリーのリーダーたちは今、ロータリーが奉仕活動を行う会員組織なのか、会員を擁する奉仕団体なのか、決めかねています。クラブこそ、ロータリーの本体なのです。ロータリーは、今クラブを基本とする会員制を保持しなければいけないという方針に私は従います。

そして、会員増強の様々な問題に前向きに対処します。英国、北欧、オーストラリア、北米では、ロータリアンの会員数は伸び悩んでいます。日本と同じく、高齢化の問題に直面しているのです。アジアでは会員数は上向きですが、リーダーからは数よりも質に重点を置きたいという声もあがっています。ドイツなど欧州諸国では、ロータリアンの地位は高く、安定した伸びを見せています。ですから、画一的な解決策では望み通りの結果は得られません。地域独特の問題に対処するロータリアンの永続的な組織が必要だと私は考えます。この組織は正式な委員会の枠組みと、ロータリアンが実施しやすい行動計画を備え、クラブに働きかけなくてはなりません。

また、私はポリオ撲滅後の世界におけるロータリーの将来の方向性を定めるべく、ロータリーのリーダーた

ちに働きかけ、会長たちに意見を求めます。ポリオ撲滅という偉業を成し遂げた暁には、ロータリーの認知度は非常に高くなり、数多くの機会に恵まれることでしょう。

この時こそ、より多面的な提携関係を活用すべき時なのです。多くの団体がロータリーとの提携を求めるようになります。ロータリーの活動は注目を集め、よいことを行う世界的な発信となれるかもしれません。

1年間に詰め込みすぎと思われるかもしれませんが、実現可能なのです。皆さんと力を合わせればかならず成功すると信じています。

### 新入会員大歓迎会

2019年7月30日（火）

「 向島料亭 千代田 」

改めて、ご入会おめでとうございます！



写真左より

- ・立花 純 会員 （株式会社ビッグライフ）
- ・白幡 隆広 会員 （ブルデンシャル生命保険(株)）
- ・白井 正三郎 会員 （NPO 法人らいおんはーと）
- ・柴田 剛 会員 （株式会社ケア・スポット）

### 当クラブ例会休会のお知らせ

8月14日（水）は、  
当クラブの例会は休会です。